2013年3月記載要領変更に伴う改訂

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。また、必要な時読めるよう大切に保管してください。

第3類医薬品

サロメチール・ソフト

外用鎮痛消炎薬

手足や肩、腰の疲れは血液の循環や新陳代謝の異常などによって起こり、痛みやこりとして感じられます。また、打撲、捻挫は患部に内出血や炎症を起こし、痛みを伴います。

サロメチール・ソフトは…

- 微香性で浸透性のよい軟膏剤の外用鎮痛消炎薬です。
- ●患部にすり込むと皮膚を通して吸収され、血液の循環をよくし、炎症や痛みをやわらげます。
- スポーツや仕事等の筋肉痛、筋肉疲労、肩こり、腰痛、関節痛によく効きます。また、打撲、捻挫の炎症を鎮め、痛みをやわらげ、しもやけには血液の循環をよくして、症状を改善します。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

次の部位には使用しないでください

- (1)目の周囲、粘膜等。
- (2)湿疹、かぶれ、傷口。



相談すること

- 1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- 2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性が ありますので、直ちに使用を中止し、この文書を持って 医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

関係	部 位	症	状
皮	唐	発疹・発赤、かゆみ、痛み	

3.5~6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、 この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

〔効 能〕

筋肉痛、筋肉疲労、肩こり、腰痛、関節痛、打撲、捻挫、しもやけ





om 🖈



肩こり



〔用法·用量〕

1日数回、適量を患部に塗擦してください。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3)目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- (4)本剤のついた手で、目などの粘膜にふれないでください。
- (5)外用にのみ使用してください。
- (6)時計、めがね等の金属類、化学繊維の衣類、プラスチック類、塗装のしてある床・家具等に付着 すると変質することがありますので、付着しないように注意してください。
- (7)衣類に付着した場合は、なるべく早く水又は洗剤で洗ってください。
- (8)皮膚の弱い人は、同じ所に続けて塗擦しないでください。
- (9)入浴前後の使用はさけてください。
- (10)塗った患部をコタツや電気毛布等で温めないでください。
- (11)入浴等で肌をこすったり、夏場など汗をかいた時は、本剤による刺激を強く感じる場合があります。 激しい痛み・刺激感やかゆみを感じた場合には、

使用を中止し、石けんをよく泡立て、こすらないでやさしくなでるように患部を数回水で洗った後、冷水や軽くしぼったぬれタオルなどで十分に冷やしてください。

症状の改善がみられない場合は、この文書を持って医師にご相談ください。

[成分・分量と働き] 1g中-

成 分	分 量	働 き			
サリチル酸グリコール	50mg	皮膚から容易に吸収され、患部の血行を改善し、新陳代謝を促し、筋肉痛、肩こりや腰痛などに伴う炎症や痛みを抑えます。			
<i>l</i> -メントール	30mg	知覚神経の末梢に作用して筋肉痛、肩こりや腰痛などに伴う 痛みをやわらげます。			
トコフェロール酢酸エステル	10mg	局所のうっ血(血がとどこおること)状態を改善し、筋肉痛、 肩こりや腰痛などに効果をあらわします。			
グリチルレチン酸	2mg	筋肉痛、肩こりや腰痛などに伴う炎症を抑えます。			
ノニル酸ワニリルアミド	0.25mg	血管を拡張する働きにより血行を促進し、筋肉痛、肩こりな どに効果をあらわします。			

添加物として、ステアリルアルコール、セタノール、マクロゴール、ミリスチン酸イソプロピル、ジメチルポリシロキサン、ステアリン酸ポリオキシル、自己乳化型モノステアリン酸グリセリン、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、パラベン、香料(フェニルエチルアルコール、ベンジルアルコール、アルコールを含む)を含有します。

●保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4)使用期限(外箱及びチューブに記載)をすぎた製品は、使用しないでください。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構

http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html

電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は 下記にお願い申し上げます。

> 佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口 電話 03(5412)7393

受付時間:9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

製造販売元 佐藤製薬株式会社